

PICK UP MOVIE



(C) 7th Day Film All rights reserved

私たちの青春、台湾

[2017年/台湾/116分] 監督：傅榆（フー・ユー）
出演：陳為廷（チェン・ウェイティン）、蔡博芸（ツァイ・ボーイー）

“きみの笑顔の先に、未来をみた”

台湾ひまわり運動のリーダー。
人気ブロガーの中国人留学生。
そしてドキュメンタリー映画の監督の私が、
台湾、香港、中国でみつけた“私たち”の未来への記録——



[あらすじ] 2014年に台湾で起きた学生たちによる社会運動「ひまわり運動」のリーダーと、中国人留学生の人気ブロガーの活動を通じ、台湾民主化の歩みを記録したドキュメンタリー。2014年3月18日、台湾学生運動の中心人物・チェン・ウェイティンは、リン・フェイファンとともに立法院に突入し、ひまわり運動のリーダーとなった。一方、中国からの留学生で人気ブロガーのツァイ・ボーイーは、台湾における“民主”のあり方をブログで伝え、書籍化されて大反響を呼ぶ。フー・ユー監督はそんな彼らの姿に期待を膨らませるが、ひまわり運動後、彼らの運命は失速していく。さらにカメラは、香港の雨傘運動前のジョシュア・ウォン、アグネス・チョウとの交流を追い、台湾・香港・中国が抱える問題、海を越えた相互理解の難しさ、民主主義の持つ一種の残酷さを浮かび上がらせていく。2018年・第55回金馬奨で最優秀ドキュメンタリー賞を受賞。

[上映日程] 2/27~3/12 (休映：3/4、8) *予定

勇敢さの裏には複雑な人生が

台湾で2014年3月、学生が国会を占拠した。そして、強行採決された「サービス貿易協定」を、当時の国民党政府に撤回させた。協定によって、台湾市場が中国企業に開放されてしまうことを人々は恐れたのだ。これは「ひまわり運動」と呼ばれている。

この映画はその3年前の2011年から、その後の2017年まで、さまざまな社会運動に関わった2人の若者を追ったものだ。だがこの種の政治的な作品では珍しいくらい、彼らの心の動きをこまやかにとらえ、青春の輝きや迷いを描き出している。それができたのは何よりもまず、監督自身に差し迫った問題意識があったからだろう。

台湾は多言語多文化社会だ。さまざまな文化が入り混じり、多様な背景を持つ人々が暮らしている。しかも強大な中国に対峙しなければならないという緊張にさらされている。果たして政治的に敵対する者同士が、歩み寄って相互理解に至ることはできるのか。監督はそれを探ろうと、学生らの社会運動を記録し始めたという。彼らに望みを託したのだ。

けれども「ひまわり運動」の昂揚感が去ったあと、2人の若者はまた数々の敗北と打ちひしがれそうな困難に立ち向かうことになる。そんな状況で、監督を含めた3人が交わす静かな会話は心に沁みる。もともと政治的な立場は異なっていた3人だ。それぞれにとって、彼らの運動がもたらしたものは何だったのか。

ちなみに本作には香港の若者たちも登場する。彼らはいまなお、さらに厳しい民主化闘争を続けている。同時期に上映される『香港画』には、残酷な強権に繰り返し挑む彼らの姿が描かれている。いま日本で、私たちにはいったい何ができるだろうか。

tamura shizue
田村志津枝

ノンフィクション作家。一方で大学時代から自主上映や映画制作などに関わってきた。1977年にファスビンダーやヴェンダースなどのニュー・ジャーマン・シネマを日本に初めて輸入、上映。1983年からホウシャオシエンやエドワード・ヤンなどの台湾ニューシネマ作品を日本に紹介し、その後の普及への道を開いた。



併せてこちらもおすすめ!

香港画 “抗う。” 激動の香港で始まったかつてない国家の弾圧——若者たちの抵抗 衝撃と怒りの28分。

[2020年/日本/広東語・英語・日本語/28分] 企画・監督・撮影：堀井威久彦

[あらすじ] 「逃亡犯条例改正案」をきっかけに2019年6月よりエスカレートしていった香港民主化デモ。デモ隊と警察の激しい衝突の様子は日本でも日々報じられていたが、デモに参加した若者たちの声や訴えは日本にいるわたしたちにどれだけ届いたのだろうか。香港の若者たちはなぜ、何のために闘うのか。翻って私たちは彼らの声にどのように向き合うのか、応えるのか。観るものを圧倒し「あなたは聞いているのか？」と問われざるを得ない衝撃作、勇気をもって対峙せよ。

[上映日程] 2/27~3/12 (休映：3/4、8) *予定
特別鑑賞料金 (一般) ¥1,300
その他通常通り

【トークイベント】東アジアと若者たち

2/28 日 公開記念イベント

14:50~『私たちの青春、台湾』上映
17:00~『香港画』上映
17:30~トークイベント (約1時間)

登壇者：長崎航平 (現役高校生) 他、現在調整中

高校生が贈るアフタートークイベント。近くて遠いアジアに生きる日本の高校生がこの世界と向き合います。

詳細はHPにて!